

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第72期中間期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

■当第2四半期連結累計期間の概況

当該期間におけるわが国経済は、政府による財政・金融政策等の効果が継続し堅調に推移したものの、国内を中心に半導体製造設備市場が減速し、中国経済の減速が鮮明となるなど先行き不透明感が強まりました。

こうした状況下において、当社グループの受注高は6,578百万円(前年同期比677百万円、9.3%減)、売上高は6,752百万円(前年同期比94百万円、1.4%増)となりました。利益面に関しては、利益率の高い製品の売上構

成比が高かったこと、売上原価を抑制したこと等を主要因として、黒字を回復することができました。結果として、経常利益210百万円(前年同期は経常損失106百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円(前年同期は四半期純損失96百万円)となりました。

■通期の見通し

通期業績は、足元の受注状況など下期に向け先行きが不透明な状況にあることから、当初の業績予想から変更しておりません。

当社グループの通期の連結業績は、売上高14,000百万円、営業利益60百万円、経常利益160百万円、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円と予想しております。

期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり1円とさせていただきます。業績の早期回復を目指し、収益基盤の強化、海外展開、新商品の開発投入を今後一層加速してまいります。株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。



■ 駆動システム

買収した米国子会社が好調であったこと、受注残の消化に努めたことに加え、利益率改善に努めた効果もあり、受注高は減少したものの、増収増益となりました。

当セグメントの受注高は2,890百万円（前年同期比466百万円、13.9%減）、売上高は3,193百万円（前年同期比174百万円、5.8%増）、営業利益は313百万円（前年同期比261百万円、498.6%増）の結果となりました。

売上高 **3,193** 百万円

■ 金型システム

マレーシア・中国の海外子会社の受注低迷に加え、ハイブリッド車向けのモーターコア受注が低調だったことにより、受注高・売上高はそれぞれ減少いたしました。国内での利益率の改善や低迷する海外子会社で取り組んでいるコスト削減により損失縮小に努めたものの、営業利益の計上には至りませんでした。

当セグメントの受注高は1,583百万円（前年同期比268百万円、14.5%減）、売上高は1,640百万円（前年同期比89百万円、5.2%減）、営業損失97百万円（前年同期は営業損失178百万円）の結果となりました。

売上高 **1,640** 百万円

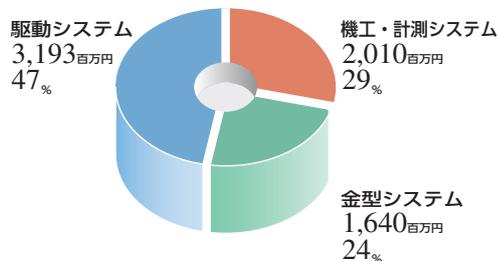
■ 機工・計測システム

工作機械の受注・売上が好調で堅調に推移したことにより、利益を計上することができました。

当セグメントの受注高は2,195百万円（前年同期比136百万円、6.7%増）、売上高は2,010百万円（前年同期比88百万円、4.6%増）、営業利益は10百万円（前年同期の営業損失56百万円）の結果となりました。

売上高 **2,010** 百万円

セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 新商品の拡充

当社には、「常に新しいものに挑戦し、新しい価値を創造する」という“Challenge & Create”の行動理念があります。その行動理念のもと、新商品を拡充いたしました。まず、「機上計測システム」をご紹介します。このシステムは、平面研削盤に「機上計測装置」を取りつけることによって計測の自動化を実現しました。量産平面加工等の生産性を求められる現場で、高い効果を発揮いたします。駆動システムにおいては、「小型アクチュエータ」の開発と「ボールねじアクチュエータおよびボールねじシリーズ」の拡充に取り組んでおります。当社の「小型アクチュエータ」の特徴は、繰り返し位置決め精度±1μmという超高精度を実現している点です。「ボールねじアクチュエータおよびボールねじシリーズ」の拡充では、高剛性の「SEシリーズ」で高精度仕様を追加、高周速静音の「Fシリーズ」で新サイズを追加し、顧客ニーズの取り込みに今後一層努力してまいります。

機上計測装置



小型アクチュエータ

■ 測定計測展への出展

平成27年9月、東京ビッグサイトで開催された測定計測展へ出展いたしました。この展示会では、油圧拡張式クランピングツール「ハイドロリックツール」をはじめ、真直度測定機、コンロッド測定機、歯溝測定機など自動車業界に関わりの深い製品を中心に展示いたしました。3日間の会期中には、多数の方がお越しくださりました。今回の出展では、具体的な商談に繋がる積極的な販促活動を展開いたしました。



測定計測展の様子

■ 平湖黒田精工と平湖黒田捷納泰克商貿の移転

平成27年7月に、中国現地法人である「平湖黒田精工」および「平湖黒田捷納泰克商貿」が「平湖経済技術開発区」に移転しました。従来の場所は周辺の市街地化が進み、市政府から移転要求があったため、同じ平湖市の中でより機能的な経済開発区に社屋を移すこととなったものです。開発区総規格面積は27.5平方キロに及び、浙江省政府に認可された全省唯一の日本企業投資区です。「平湖黒田精工」においては、旧工場から新工場へ移転したことを機に、今後一層金型メンテナンスサービスおよびボールねじ組付けの拡充を図ってまいります。「平湖黒田捷納泰克商貿」では、今回の移転に伴い新たに「ショールーム」を常設しました。新社屋ではこの「ショールーム」を活用し、工作機械を中心とした機工・計測システム商品および駆動システム商品の販売とサービス拠点としてさらなる発展を推し進めてまいります。



新社屋外観

■ 準マスター誕生

平成27年7月に、マスター制度開始以来初となる準マスターが誕生しました。マスター制度は、高い技能を持った従業員を顕彰し、当社の技術レベルの維持向上を図るために平成24年9月に創設されました。「匠の技」を持った従業員がマスター・準マスターを目指して精進を重ね、今般社内審査に合格し、最初の準マスターが認定されました。8月には、富津工場において認定書とマスターバッジ授与式を開催しました。マスター制度を通して「精密のクロダ」の高度技能のたいまつを次世代に引き継ぎ、会社の使命である「精密技術を通じて世界の産業高度化をサポート」に全力を傾けてまいります。



準マスターバッジ

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 平成27年3月31日現在	当第2四半期末 平成27年9月30日現在
(資産の部)		
流 動 資 産	8,613	8,367
固 定 資 産	10,097	9,986
有 形 固 定 資 産	5,996	6,041
無 形 固 定 資 産	1,615	1,595
投 資 そ の 他 の 資 産	2,485	2,349
資 産 合 計	18,710	18,353
(負債の部)		
流 動 負 債	5,485	5,249
固 定 負 債	5,233	5,065
負 債 合 計	10,718	10,315
(純資産の部)		
株 主 資 本	6,087	6,129
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	2,768	2,810
自 己 株 式	△7	△7
その他の包括利益累計額	1,708	1,728
その他有価証券評価差額金	635	582
土 地 再 評 価 差 額 金	831	831
為 替 換 算 調 整 勘 定	459	518
退職給付に係る調整累計額	△217	△204
非支配株主持分	195	181
純 資 産 合 計	7,991	8,038
負 債 ・ 純 資 産 合 計	18,710	18,353

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	当第2四半期累計期間 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
売 上 高	6,658	6,752
売 上 原 価	5,297	5,038
売 上 総 利 益	1,360	1,714
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,572	1,603
営 業 利 益	△211	110
営 業 外 収 益	221	207
営 業 外 費 用	116	107
経 常 利 益	△106	210
特 別 利 益	2	—
特 別 損 失	1	23
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	△105	187
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	29	64
法 人 税 等 調 整 額	△23	61
四 半 期 純 利 益	△111	60
非支配株主に帰属する四半期純損失	△15	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	△96	70

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	当第2四半期累計期間 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	427	563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△135
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△7
現金及び現金同等物の増減額	△6	△53
現金及び現金同等物の期首残高	2,242	2,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,236	2,454

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■会社の概要

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億75百万円
従業員数	416名

■連結対象会社の状況

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社	株式会社ゲーミング
クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)	日本金型産業株式会社
平湖黒田精工有限公司 (中国)	
永昇電子株式会社	
韓国黒田精工株式会社	
KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)	
Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)	
Kuroda Jena-Tec, Inc. (米国)	
Kuroda Jena Tec UK Ltd. (英国)	
平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (中国)	

■当社グループの主要な事業

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ、スピンドル

■株式の状況

発行可能株式総数	74,800,000株
発行済株式の総数	28,100,000株
株主数	2,217名

■所有者別株式分布状況

合計 28,100,000株

証券会社 1.22%

個人・その他	外国法人	金融機関	その他国内法人
38.87%	23.22%	15.91%	20.63%

自己名義 0.12%

■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
パーカー ハネフィン マニュファクチュアリング ユーケー リミテッド	5,570	19.84
株式会社みずほ銀行	1,381	4.92
黒田 浩史	1,169	4.16
ファナック株式会社	984	3.50
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	983	3.50
黒田精工取引先持株会	895	3.18
ユーログループエスビーイー	843	3.00
株式会社横浜銀行	748	2.66
三井住友信託銀行株式会社	616	2.19
株式会社ミツバ	562	2.00

* 持株比率は自己株式 (34,440株) を控除して計算しております。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
定時株主総会・期末配当	
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に登録された株式

特別口座に登録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。

株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

